

(毎月1日発行、創刊号平成23年4月11日)



復興ニュース

136号
2015年
8月1日

法律相談から見える被災地の課題



◎無料法律相談の報告会開催

大船渡市と気仙沼市で無料法律相談を行っている認定NPO法人ヒューマンライツ・ナウは7月25日、リアスホールで報告会「法律相談から見える被災地の課題」(夢ネット大船渡協力)を開きました。

吉田悌一郎弁護士によると、被災者の方からの主な相談は、①相続の問題、②借金や債務整理の問題、③離婚など家族の問題、④住宅の再建の問題など。買い物支援や介護施設に入るための資金、高齢者向けの求人についての相談も多いということです。

◎被災者アンケートについて

昨年9月から11月に大船渡市の被災者を対象に行われたアンケートでは、震災前と比べて世帯収入が下がり生活に困っている、無職になった、生活費が足りない、健康面での問題がある、借金がある、生活保護を申請したいが周囲の目が不安、災害公営住宅の家賃について心配などの回答が寄せられたことが報告されました。池田充税理士からは主に、被災者の住宅取得にかかる税金(贈与税や相続税など)の説明がありました。

◎副市長らにこれまでの法律相談について報告

報告会の前には、ヒューマンライツ・ナウの後藤弘子副理事長、吉田弁護士、池田税理士と夢ネット大船渡の岩城理事長が、大船渡市の角田陽介副市長、伏木崇人生活福祉部長にお会いし、これまで大船渡市で開催した無料法律相談について報告しました。

大船渡市の盛町で 子ども相撲大会

盛青年商工会(新沼智和会長)主催の『お天王さま少年奉納相撲大会』がこのほど、盛町の福祉施設・蔵ハウス大船渡の特設会場で開催されました。

快晴の中、盛町の児童が地域対抗によるトーナメント方式で熱戦を繰り広げ、保護者や地域住民、蔵ハウスの利用者などから大きな拍手と歓声を受けていました。試合に負けて悔しくて泣きじゃくる子供、顔を真っ赤にして自分より一回りも大きい相手に果敢に攻める子供、一人ひとりが一回り大きく成長した雄姿を見せてくれました。





アートのかで 大変身!

アートで東日本大震災の被災地を支援しているARTS for HOPE（アーツ フォー ホープ、東京都千代田区、高橋雅子代表）はこのほど、大船渡市末崎町にある復興食堂『羅・萌衣瑠〜ら・めーる〜』の店舗外壁に新しいデザインを塗装する支援活動を行いました。

『羅・萌衣瑠』店主の大和田ご夫妻をはじめ、地域住民やシルバー人材センターの会員、県外

からのボランティアなど多数参加し、外壁にワカメをモチーフにした模様や店舗名を描きました。プレハブの店舗が明るく生まれ変わりましたね!!

きっぴんキッズ七夕祭り

子育てサークル「きっぴんきッズ」（白木澤京子代表）はこのほど、吉浜地区拠点センターで七夕祭りを開催し、親子約20人が参加しました。

当日は大船渡市のNPO法人さんさんの会（金野正記理事長）協力のもと、流しそうめんが行われました。参加者はそうめんだけでなく、次々と流れてくる野菜、果物、ゼリーを箸で一生懸命すくっていました。

子育てサークル「きっぴんきッズ」は毎週月曜日10:00~12:00まで吉浜地区拠点センターで活動しています。活動への参加は、吉浜地区だけでなく、どなたでもOKです!



◎陸前高田市の水上団地で手芸講習が始まりました!!

NPO法人夢ネット大船渡ではJPFからの助成を受けて今年度から、仮設住宅だけでなく災害公営住宅でも手芸講習を開催しています。

7月から新たに陸前高田市気仙町の水上団地で手芸講習が始まりました。初回は講習についての説明のあと、小物入れ作りに取りかかりました。来月、完成予定です。

◎陸前高田市の滝の里仮設で七夕飾りづくりを行いました!!

陸前高田市滝の里仮設でこのほど、七夕飾りづくりが行われました。この七夕作りは、岩手日日新聞社（一関市）から材料の提供を受けて行われたものです。

住民13人が参加し、色とりどりの七夕飾りを作りました。皆さん、七夕の時には孫の成長や一日も早い新居での生活をお願いしたいと話していました。



学生向け復興の現場見学会

岩手県では復興事業や被災者支援活動への学生の皆さんの理解を深めることを目的として、陸前高田市内の復興現場などの見学会を開催します。

最先端技術工事の裏側や、被災地を支援している団体職員の生の声を直接聴くことができる絶好の機会です。ぜひ、ご参加ください。

- 【日時】 平成27年9月7日(月)
- 【集合場所、時間】 ・盛岡駅西口9時20分までに集合
・大船渡地区合同庁舎12時20分までに集合
- 【参加費、定員】 参加は無料。先着40人
- 【行程】 盛岡駅西口出発(9:30発)--大船渡地区合同庁舎(12:30発)--現場見学(13:30~16:30)--大船渡地区合同庁舎(17:00着)--盛岡駅西口(19:15着)
- 【見学内容】 13:00~ 復興事業の現場見学
15:00~ 被災者の生活支援の取り組み紹介
16:00~ 被災地の支援活動紹介
- 【留意事項】 昼食は各自で用意してください。汚れても良い服装でお越し下さい。
- 【申し込み】 8月12日(水)9:00~ 参加申し込み受付開始。
大船渡地域振興センター復興推進課(Tel0192-27-9911)まで
お願いします。参加者ご本人が直接申し込みください。

ジョブカフェ気仙を利用しよう!

大船渡市盛町のシーパル大船渡1階にジョブカフェ気仙があります。ジョブカフェ気仙は、15歳~35歳くらいまでの方を対象に、就職・仕事にかかわる支援を行う施設です。スタッフ6人が一人ひとりに合った方法で就職をサポートしてくれます。

主なサービスはキャリアカウンセリング(1回1時間)、適性診断、就職活動情報の提供、各種セミナーなど。利用は無料なので、お気軽にご利用しましょう!

【ジョブカフェ気仙利用案内】

利用対象: 高校生の方、お仕事を探している方、
転職希望の方、今の仕事に悩んでいる方

利用日: 月曜日~金曜日(土日祝日、年末年始を除く)

利用時間: 10:00~17:00



ジョブカフェ気仙の様子



大船渡町の川原アパート集会議場で初イベント!

7月から入居が始まった大船渡市大船渡町の市営川原アパート(菊地武雄川原町内会長)で7月24日夜、集会議場を使った初のイベントが行われ、住民20人が参加しました。

3年前に大船渡市で朗読劇を行った方たちのドキュメンタリー映画が上映されたほか、映画の出演者4人が短くアレンジされた朗読劇を披露してくださいました。

三鉄盛駅ふれあい待合室からのご案内 TEL0192-47-3542

◆盛駅賑わい市

・8月8日(土)、8月22日(土) 10:00~12:30

※毎月第2、第4土曜日開催

旬の野菜(JAおおふなと女性部、はこべの会)などを販売します
子供服の交換所、手芸用布プレゼント、ヨーヨー釣りなどを行います

・8月23日(日) 10:30~15:30

日本テレビ「24時間テレビ・愛は地球を救う」(今年のテーマ:つなぐ~時を超えて笑顔を~)の募金活動が盛駅前でも上記の時間に行われます。夢ネット大船渡もこの行事に協力するため特別に「盛駅賑わい市」を開催します

◆無料法律相談 <申し込み必要>

8月23日(日) 10:00~13:20

弁護士が無料で相談に応じます。税務相談も受け付けております。

相談時間は1人40分です。仮設住宅なども訪問相談可能です

◆三鉄 駅弁列車 <申し込み必要>

8月29日(土) 11:00に盛駅集合

11:25盛駅発一釜石駅ー13:25盛駅着

参加費2500円(乗車券、駅弁代) 締め切り8月21日(金) 定員48人

ウニの炊き込みご飯、ホタテ、アワビ、イクラ、カキ、ワカメ、サンマの竜田揚げが入った少し贅沢な駅弁をいただきます

◎三陸鉄道1日フリー乗車券 お得な休日利用!

休日:1人 1500円(子供半額)で1日乗り放題

平日:1人 2160円(子供半額)で1日乗り放題

!うれしい話題!

7月15日三鉄盛駅ふれあい待合室の常連のHさんがふれあい待合室に居た方に「どちらから来ましたか」と声を掛けました。富山県から軽トラで10数時間かけて今到着しました。

震災直後大船渡市に来てボランティアセンターから派遣され、赤崎町の被災住宅の床板をはがし、泥だしを行ったが、4年後の今どうなっているか見たいと思ってやってきました。その後、Hさんが心当たりを探しながらその家を訪ねたところ、奥様が在宅で久々の対面が実現し、感激していただきました。

その後、寿限無亭、東海新報社、新沼謙治さんの実家、夜は「ほや」を食べたいというのでうら嶋へ、自宅へ宿泊させ、16日朝富山へ帰って行ったそうです。

以上のお話を聞き、震災後大船渡市へボランティアに来た方々がその後被災地がどうなっているか、心にとどめているのだと思い、情報発信の大切さを痛感しました。

Hさん、ご苦労さまでした。



ご意見、ご感想をお寄せください

発行元: NPO 法人夢ネット大船渡

*大船渡市盛町字内の目14-15

*Tel/fax 0192-47-3271

*メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

この復興ニュース発行には
岩手県福祉基金からの助成と
MS & ADゆにぞんスマイルクラブ
NPO 法人美山まちづくり NPO
(福井県福井市)
のご寄付を受けています。